



●すすんで学び共に学ぶ子ども ●認め合い共によりよく生きる子ども ●心身共にたくましくしなやかな子ども

プールサイドから… ベランダから… 「行ってらっしゃ〜い!!」

5年『宿泊学習』

みんなとてもいい
笑顔ですねえ。



■8月29日(火) 1日目

野外活動センターのバスに乗って、5年生が宿泊学習に出発しました。今年の夏はとても暑くて、子どもたちの体調が心配でしたが、全員そろって元気に出発しました。まずはひと安心です。バスに乗って、笑顔いっぱいの5年生。楽しい2日間になりそうな予感です。



5年生がバスに乗り込むと、水泳学習をしていた低学年の子どもたちはプールサイドから、教室で授業をしていた他の学

年の子どもたちはベランダから、全員で手を振り「行ってらっしゃ〜い。」と声をかけていました。何人かのお家の方々も見送りです。とても微笑ましい光景で、見ていたこちらもちなやかな気持ちになりました。宿泊学習のスローガンは「何事も協力し、全力で活

動しよう。」です。このことをしっかりと確認し、2日間の活動がスタートです。

今回の活動場所は、陸前高田市広田町の岩手県立野外活動センター『ひろたハマラインパーク』です。最初にセンターの高橋さんから説明を聞きました。公共施設を利用する際に気を付けることを教えていただきました。

午前の活動は館内ビンゴです。施設の案内図を手がかりに、施設内に貼られている30枚のシールを探します。そして、そのシールに描かれている物の名前を答えるとともに、書かれている数字でビンゴを完成させる活動です。シールは目立たないところに貼ってあるので、見つけるのが難しかったです。



昼食はセンター内の食堂で、美味しいうどんをいただきました。調理員の方に「ごちそうさまでした。おいしかったです。」と、立派に挨拶をし、午後の活動に移りました。

午後はいかだ体験をしました。盛小では初めて行う活動です。いかだを作るための材料となる大きなゴムチューブをメンバーで交代しながら持ち、およそ20分、目的地の海岸まで歩きました。いかだ作りは竹を組むところから始まります。そこに4本のチューブを並べ、ひもでしっかりと結び、いかだの完成です。いかだには6人または7人で乗りますが、バランスを取ること、息を合わせてオールを漕ぐことが難しかったです。いかだから降り、遊泳体験をした子もいました。海水は冷たくなく、ライフジャケットも着ていたので、安心して楽しむことができました。



1日目の最後の活動はキャンプファイヤーです。これから始めますというときに雨が降ってきたので心配しましたが、すぐに止み、予定どおりに「迎え火のつどい」から始まりました。火の神から「友情・努力・協力・感謝」の4つの火を授けていただき、点火しました。勢いよく燃える炎を囲み、激励に来てくれた先生方も加わり、マイムマイムを楽しく踊りました。「猛獣狩りに行こう」や〇×クイズなど、班からの出し物も楽しかったです。



■8月30日(水) 2日目

2日目はニュースポーツから始まりました。6グループに分かれ、キンボールとシャフルボードをしました。キンボールはそれこそ“協力”が求められるゲームです。シャフルボードは接戦の試合もあり、白熱しました。汗びしょりになりながら、2つのゲームを思いっきり楽しみました。



最後の活動は野外炊事です。定番のカレーライス作りですが、家庭で練習してきた子もいたことと思います。食材を切る、米を研ぐ、火を起こすなど、自分の役割を担い、カレーを完成させました。多少のおこげ、カレーのとろみ具合は問題ありません。「家のカレーよりおいしい。(そんなことはないと思いますが)」と話す子もいて、みんなで時間をかけ、力を合わせて作ったカレーは本当においしかったです。おかわりする子、4班全てのカレーを食べた子など、大成功のカレーライス作りでした。

食事後は食器類を新聞紙で拭き取ってからきれいに洗い、厳しい食器点検を何とかクリアしました。



帰校式では「今回の体験をこれからの生活でどのように活かしていくか、しっかり考えよう。」と、確認しました。

こうして2日間の宿泊学習は終了しました。今回の経験を活かし、5年生がこれからさらに成長し、盛小学校の立派なリーダーになっていくことと信じています。



盛小学校ホームページ
(ブログ) 携帯サイト

